

働く人に満足を。

よりよい働き方・いごちのよい環境づくりの追求・提案

社員一人ひとりがいきいきと働き、健康的にやりがいを感じられる働き方といごちの良い環境づくりを目指します。

健康経営の推進

健康経営宣言

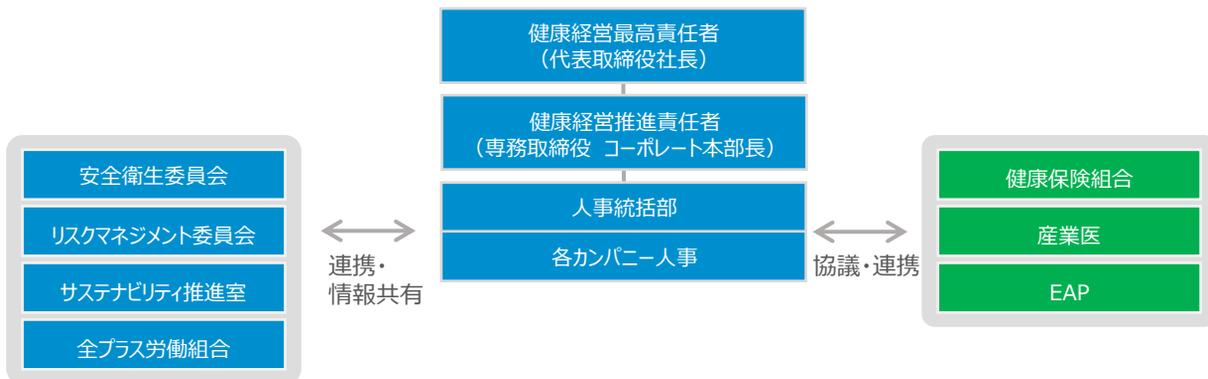
プラスが掲げる企業理念「新しい価値で、新しい満足を。」を実現し、サステナブルな未来を創る原動力は、プラス株式会社に働く社員一人ひとりであると考えています。この考えのもと、働く社員が心身ともに健康で、いきいきと働き、公私共に充実した毎日を過ごせる企業を目指します。

プラス株式会社
代表取締役社長 今泉 忠久

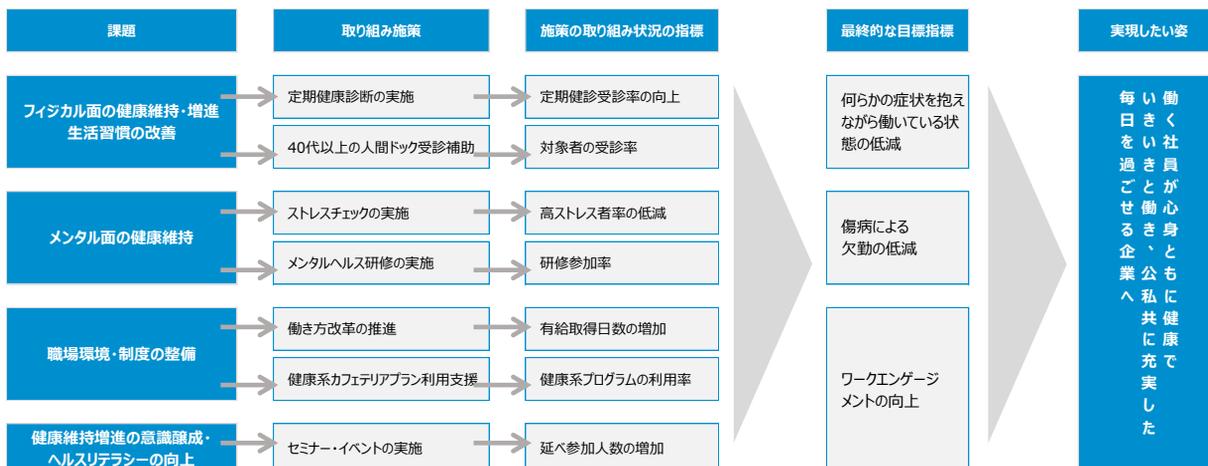
健康経営方針

- 社員一人ひとりが、持てる力を十分発揮し、やりがいと成長を実感できる環境を整備する
- 社員が心身ともに健康で、いきいきと働けるよう安全で快適なオフィスづくりを推進し一人ひとりの健康をサポートする
- 健康について「考える」「学ぶ」「実践する」機会を提供することによって、社員とその家族の健康維持・増進に取り組む

健康経営組織体制



重点取り組み施策



主な取り組み

フィジカル面の健康維持・増進、生活習慣の改善

・定期健康診断の実施及び人間ドック項目の受診サポート

30歳・35歳以上の社員に対し定期健康診断の受診に加え、人間ドック受診を推奨しており金額の一部を会社が補助しています。また、社内のサイネージで情報提供する他、人間ドックを受診した日は人間ドック休暇（有給扱い）を1日与える等、受診率の向上、疾病の早期発見に努めています。

・基礎ドック、専門ドック（脳ドック、腫瘍マーカー、レディースドック、胃カメラ） ※レディースドックは25歳も対象

・傷病休暇の導入

「年間5日以上の計画年休取得」の導入により「万一病気になった場合に使える有休が減ってしまう」という不安を解消するため、傷病理由に限定した休暇（有給扱い）を5日間設定しています。

メンタル面の健康維持

・EAP(社員支援プログラム)の導入

社員とその家族が個人的または精神的な心配事を株式会社ジャパンEAPシステムズの専門カウンセラーに相談できるシステムを導入しています。

・ストレスチェック

社員一人ひとりが心の健康度を確認・理解するために、年に一回ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの結果、高ストレスが確認された場合は、専門カウンセラーへ相談できる体制を整えています。2023年度は全社員を対象にセルフケア教育を行い、メンタルヘルスケアに努めます。

・定時退社デーの設定

毎週水曜日を全社一斉の定時退社デーに設定し、時間外労働の抑制と心身のリフレッシュを推進しています。

職場環境・制度の整備

・働き方改革の推進

仕事と生活を両立しながら、すべての社員が能力を発揮できる、働きやすい制度と環境の整備に努めています。

導入している制度：

- ・育児/介護休職制度・育児/介護短時間勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・リモートワーク制度
- ・時間単位有給休暇制度の導入

・総合型福利厚生サービス（ベネフィット・ステーション）の導入

健康をはじめ、介護、育児、生活、レジャー・エンタメ等豊富なメニューを取り揃えた総合型福利厚生サービスを導入し社員優待価格でメニューを提供しています。

・ファミリーデーの開催

オフィスへ社員の家族や友人を招待し社員同士や家族とのコミュニケーションを促進しています。

※2020年～2022年はコロナ禍のため開催自粛。2023年は開催予定

・安全衛生・リスクマネジメント

労働安全衛生に関して「全プラス労働組合」と毎月協議の場を設け、情報の共有に努めています。

指標	2022年度実績	最終目標
定期健康診断受診率	98.3%	100%
40代以上の人間ドック受診率	60.5%	100%
ストレスチェック受検率	96%	100%
育児休職取得率	男性社員：18.5% 女性社員：100%	男性社員：100% 女性社員：100%
平均有給休暇取得率	46.6%	80%
ワーク・エンゲージメント*	2.8点	4点

*ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度（0～4点）の「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」という設問の全社員平均得点